

平成 29 年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

『明日への扉』と『有終の美』	
池北の歴史とこれまでの取組みを継承し、確かな学力、豊かな感性、社会性を育成するとともに、生徒が夢を持ち羽ばたく気持ちで本校を巣立っていけるよう、閉校年度も【チーム池北】として日々あり続ける学校をめざす。	
『明日への扉』	1 生徒の一人ひとりに確かな学力と豊かな感性、社会性を育成する。 2 きめ細かな対応により生徒一人ひとりの良さを引き出すことで自己肯定感を高め、生命と人権を尊重した教育活動を展開する。 3 充実した音楽専門コースおよびキャリア教育を継承しながら、積み残しのない進路指導を実践する。
『有終の美』	4 「明るく元気な池北ファイナル」を実践し、生徒とともに閉校年度を過ごすとともに、事務引き継ぎを含めた再編整備を完結する。

2 中期的目標 閉校年度の目標

《全員卒業・全員進路実現・全員一歩前進》 『明るく元気な池北ファイナル』を合言葉に、活気ある学校生活を体感させ、自信を持たせて巣立たせる。	
1 確かな学力と社会性の育成	(1) 生活習慣・学習習慣の定着 ア：遅刻指導、頭髪・服装指導、授業規律指導等に関して、これまでも継続しながら組織的に取り組み、きめ細かな指導を行う。 (2) 学び直しの強化 ア：授業をはじめ、あらゆる機会を通して生徒が学び直す意欲を持つよう粘り強く指導していく。 イ：進路実現を目標とした一般常識や基礎知識の学習を組織的に行う。 (3) わかる喜びが散りばめられた授業づくり ア：授業づくりに関して、教科内は当然のこと、教科を越えた意見交換ができる同僚性のある職場集団を継続する。
2 理解・共感・支援を柱とした生徒指導	(1) 機能的な相談体制と情報共有 ア：チーム池北として全ての生徒に寄り添えるよう、特にタイムリーな情報共有を重要ポイントとしていく。 (2) 自己肯定感の向上 ア：授業をはじめ、あらゆる機会を通して生徒自身が見守られている安心感を持ち、自己肯定感を高めながら取り組める対応をめざす。 イ：日々の㊟メント（褒める＋コメント）日記の取組みで、自己肯定感の向上を促進する。
3 特色と現状が融合した積み残しのない進路指導	(1) 充実した音楽専門コースの維持 ア：これまでの取組みを継続し、音楽専門コースで学ぶことを通して進路を実現させ、池北生であったことにプライドを持つ指導を行う。 (2) 最後まで見守るキャリア教育の継続 ア：校内における進路指導はこれまでの実績のあるキャリア教育を維持するとともに、閉校年度においてもこれまでと変わらず求人や指定校等が生徒に提供できるよう取り組む。 イ：要支援生徒に対する進路指導において、段階をふんだきめ細やかな対応と様々な制度等を活用した助言・指導を行う。
4 明るく元気な池北ファイナル	(1) 生徒が明るく元気に過ごせる池北 ア：画期的な授業展開や独創的な発想にたった学校行事等の企画、運営など、生徒がわくわく感のある学校生活を送ることを目標に取り組む。 (2) 教職員が明るく元気に取り組める池北 ア：一般的な高校での学校生活が維持されることは当然で、加えて他にはできない取組みを支援する手段を構築することで、教職員がいきいきとした日々を過ごせることをめざす。 (3) 卒業生をはじめ関係者を明るく元気にする池北 ア：閉校に向けた企画、閉校行事をはじめ、池北での思い出を残す取組みに参加しやすい企画立案と情報発信をする。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成 年 月実施分]	学校協議会からの意見

3 本年度 閉校年度の取組内容及び自己評価

中期的 目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 確かな学力と社会性の育成	(1) 生活習慣・学習習慣の定着 ア: 遅刻指導・授業規律についての組織的な取組み (2) 学び直しの強化 イ: 進路実現を目標にした基礎学習 (3) わかる喜びが散りばめられた授業 ア: 授業づくりに関する教科を越えた職員集団の継続	(1) ア: ・これまでのカード指導を継続する。 ・授業内ルールの指導を引き続き徹底する。 ・「挨拶をする、遅刻をしない」を合言葉にした生活習慣の定着を教職員の声掛けで実現していく。 (2) イ: ・これまでの教員の朝の連絡会を廃止し、朝のSHRを兼ねた5分間ドリルを実施する。 (3) ア: ・教員減による職員室の配置換えとサロンスペースの活用継続をうまく活用して、授業づくりに関する活発な意見交流を日々行う。	《全体指標》 全員卒業 全員進路実現 ・授業アンケートにおける「生徒意識1」の肯定意見の上昇 (H28年度 2.9 ⇒H29年度 3.1) ・学校教育自己診断における下記項目の肯定率上昇 【生徒版】授業はわかりやすく楽しい (H28年度 43.4% ⇒H29年度 50%) 【教職員版】学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている - 「よくはてはまる」 (H28年度 30.8% ⇒H29年度 45%)	
2 理解・共感・支援を柱とした生徒指導	(1) 機能的な相談体制と情報共有 ア: 「チーム池北」体制とタイムリーな情報共有 (2) 自己肯定感の向上 イ: ⑬メント日記の取組みで自己肯定感の向上を促進	(1) ア: ・日々、放課後の連絡会を実践し、顔を合わせ、言葉による情報共有を行い、指導にいかす。 (2) イ: ・昨年度12月から試行している⑬メント日記を本格実施していき、教員全体で⑬メントを記入する。 ⇒各学期に1回、校長も⑬メントに参加する。	《全体指標》 全員卒業 全員一歩前進 (2) イ ・⑬メント日記を実際に読むことで、生徒たちに芽生えた自己肯定感を体感する。 ・「自分を見つめる」ことを主旨としたアンケートを年度内に実施して、数値として自己肯定感の向上を検証する。	
3 特色と現状が融合した積み残しのない進路指導	(1) 充実した音楽コースの維持 ア: 充実した音楽専門コースの取組みの継続 (2) 最後まで見守るキャリア教育の継続 ア: 校内における進路指導の継続と求人や指定校等の提供維持に向けた取組み	(1) ア: ・音楽専門コース生17名に対し、これまでの取組みを継続し、専門性を高める選択授業の変わらぬ提供と充実を図る。 (2) ア: ・【チーム池北】として進路指導に関わるために、組織的なスケジュール管理を行う。 ・企業や大学等に対しても丁寧な対応に努め、人手不足の校内事情を理由にしない取組みをする。 ・職員室は、第2進路指導室と言えるスペースを確保したレイアウトにして、来客にも生徒にも少ない教職員で丁寧に対応していく。	《全体指標》 全員進路実現 (1) ア ・音楽専門コース生の学びたい専門分野を重視して、講師の確保も含め専門性を維持した授業の確立と、選択者の進路実現 (2) ア ・これまでとほぼ同じ求人依頼企業数ならびに指定校推薦の大学数の確保 (H28年度3年生 123名 求人企業数 81社 指定校数 72校 ⇒H29年度3年生 92名) ・平成30年1月末現在の進路未決定者を0にする	
4 明るく元気な池北ファイナル	(1) 生徒が明るく元気に過ごせる池北 ア: 生徒がワクワクを感じる学校生活を送ることを目標とする (2) 教職員が明るく元気に取り組める池北 ア: 教職員がいきいきとした日々を過ごせることをめざす (3) 卒業生をはじめ関係者を明るく元気にする池北 ア: 卒業生等が参加しやすい企画立案と情報発信	(1) ア: ・最終年度の学校行事もこれまでの形式を維持していくことをベースにしつつ、寂しさを感じさせない工夫をするため、卒業生・保護者・地域は勿論のこと、高大連携の活用や民間企業の利用も含めて企画していく。 ・新しい行事も実施する。 (2) ア: ・教職員が日々、顔を合わせる・声をかけあう・笑いあう・相談し合う、を実践する。 (3) ア: ・ホームページを活用した情報発信に加えて、生徒も教職員もOBという人脈を頼った拡散も行いながら、池北サポート隊を結成する。	《全体指標》 生徒も含め関係者全員が『明るく元気な池北ファイナル』を実感 ・できる限り行事後に生徒等にアンケートを実施して、数値面からも実感できるようにしていく	